

山部宿禰赤人、春日野に登りて作る歌一首

并せて短歌

三七二番

春日を 春日の山の 高座の 三笠の山に 朝去
らず 雲居たなびき 容鳥の 間なくしば鳴く
雲居なす 心いさよひ その鳥の 片恋のみに
昼はも 日のことごと 夜はも 夜のことごと
立ちて居て 思ひそ我がする 逢はぬ見ゆるに

反歌

三七三番

高座の 三笠の山に 鳴く鳥の やめば継がるる
恋もするかも